

再生可能エネルギー設備等の設置状況に関する調査結果（概要）

平成30年5月1日現在

- 平成30年5月1日現在の公立学校施設における再生可能エネルギー設備等の設置数は、以下のとおりとなった。
- 公立の小中学校における太陽光発電設備の設置率については、平成27年度の24.6%から、平成30年度は31.0%に増加していることがわかった。
- 公立の小中学校に設置されている再生可能エネルギー設備等のうち、**停電時でも使用可能な機能を有している設備の割合は、平成27年度の44.5%から、平成30年度は58.6%に増加していることがわかった。**

1. 再生可能エネルギー設備等の設置数（学校種別）

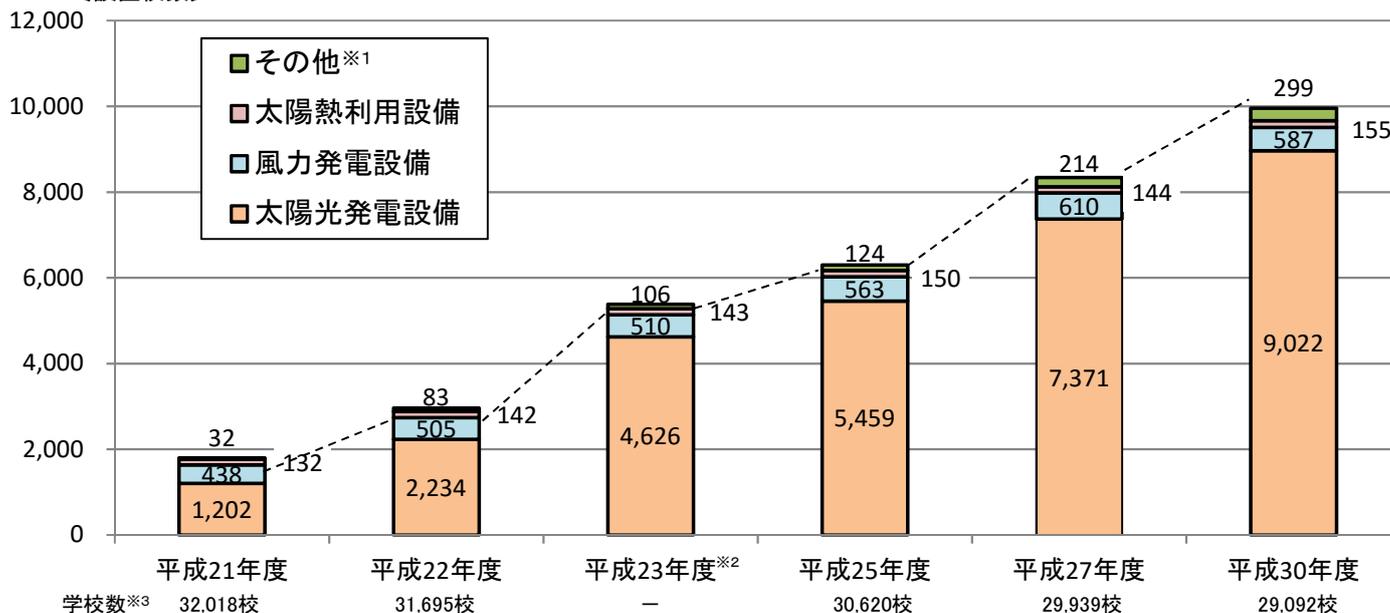
〔設置校数〕

| | 太陽光 発電設備 | 風力 発電設備 | 太陽熱 利用設備 | その他 | | | | | |
|--------------------|-------------|------------|-------------|----------------|-------------|------|-------------|-------------|---------------|
| | | | | バイオマス 熱利用設備 | 地中熱 利用設備 | 燃料電池 | 雪氷熱 利用設備 | 小水力 発電設備 | バイオマス 発電設備 |
| 小中学校 (義務教育学校含む) | 9,022 | 587 | 155 | 169 | 107 | 8 | 7 | 6 | 2 |
| 高等学校 | 1,074 | 103 | 61 | 37 | 16 | 1 | 4 | 1 | 0 |
| 幼稚園 | 287 | 8 | 8 | 6 | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 特別支援学校 | 274 | 13 | 16 | 6 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 10,657 | 711 | 240 | 218 | 133 | 9 | 11 | 7 | 2 |

※中学校には中等教育学校前期課程、高等学校には同後期課程を含む。

2. 再生可能エネルギー設備等の設置数の推移（小中学校）

〔設置校数〕



※1 バイオマス熱利用設備、地中熱利用設備、燃料電池、雪氷熱利用設備、小水力発電設備、バイオマス発電設備の設置数の合計（下線のは平成30年度から調査を実施している）。平成21年度は、地中熱利用設備、燃料電池についてのみ、調査を実施している。

※2 平成23年度は、東日本大震災による業務への影響を考慮して、岩手県、宮城県、福島県については調査の対象外とし、平成22年4月1日時点の数値を使用している。

※3 各年度の学校数は学校基本調査による。平成23年度は震災の影響のため、岩手県、宮城県、福島県を除いた学校数しかいないため記載していない。平成30年度は速報値(平成30年8月2日公表)を使用。

3. 停電時でも使用可能な再生可能エネルギー設備等の設置数（小中学校）

| | | 設置数 | |
|----------------|----------------|--------|------------------------|
| | | | うち停電時使用可能 [※] |
| (参考) 平成27年度 | 再生可能エネルギー設備等全体 | 8,339 | 3,711 (44.5%) |
| 平成30年度 | 再生可能エネルギー設備等全体 | 10,063 | 5,895 (58.6%) |

※ 停電時使用可能とは、電力会社からの供給が停止した場合でも、再生可能エネルギー設備等から供給される電力が利用出来ることを示す

＜参考：停電時でも使用可能な再生可能エネルギー設備（イメージ）＞
 停電発生後の状況（太陽光発電設備に自立運転機能がある場合）

